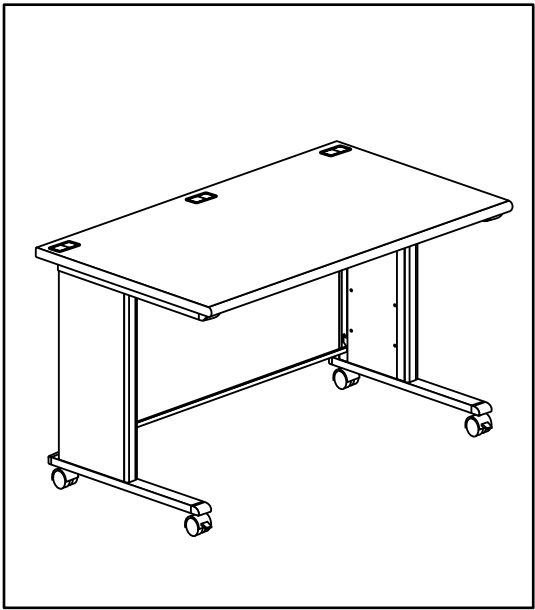


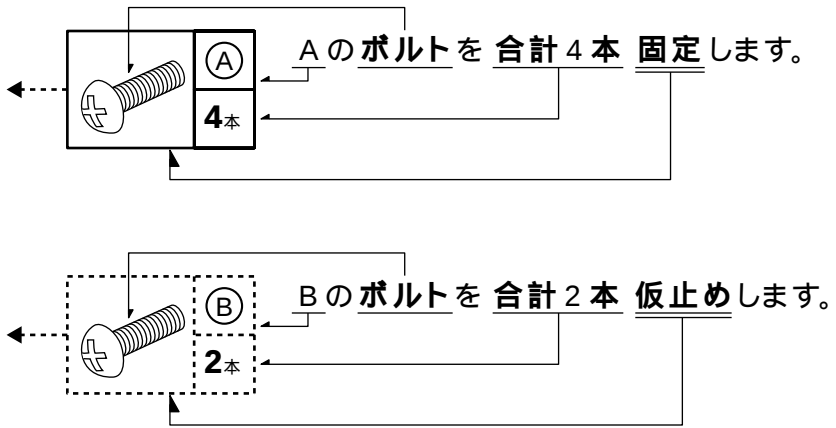
パソコンデスク
取扱い及び組立説明書

DNX-870
DNX-1070
DNX-1270
DNX-1470

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本製品を組み立てる前に、必ず「組立使用上の注意」をご覧ください、正しく組立、ご使用されますようお願い致します。



組立図使用マーク一覧



付属工具を使っ
ての組立があります。

2人以上で作業
を行ってください。

左右共通の部材を
使用します。

右用と左用とで部材の形
状が異なります。組立
の際に取付け間違いの
ないようご注意ください。

組立・使用上の注意

⚠ 注意マーク.....この表示の欄は「軽傷を負う又は、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。取扱いには十分ご注意ください。

⚠⚠ 警告マーク.....この表示の欄は「死亡又は、重傷などを負う可能性が想定される」内容です。取扱いには十分ご注意ください。

- ⚠ 必ず軍手や手袋などで手を保護してから組立を行って下さい。

⚠ 組立の際は手や指を挟まないように注意し、ストーブやコンロなど火気のある場所での組立は絶対に避けて下さい。

⚠ 組立手順に従って指定された位置のボルトは確実に止め、組み立てて下さい。 ネジが緩いと危険です。

⚠ 組立時は床などを傷つけないよう十分ご注意ください。

⚠ テーブルや棚の上に立つと危険です。絶対に上に乗らないで下さい。

⚠ ストーブやコンロなど、火気のある場所ではそれらの器具から十分に離れた場所でお使い下さい。
- ⚠ 必ず屋内で使用し、水のかかる場所や直射日光のあたる場所での使用は避けて下さい。

⚠ 使用中に組み付けたボルトが緩んできた場合は再度、組立手順にもとづき、増締めを行って下さい。(その際、天板・棚板等に載せているすべての機器を取り外して行って下さい。)

⚠ ベンジン・酸・熱湯・シンナー・ミガキ粉・石油などでのお手入れは避けて下さい。必ず堅く絞ったぞうきんなどで、拭くなどして下さい。

⚠ コンセント付きのものは容量を超えて使用しないで下さい。感電や火災の原因となります。

商品に関する
お問い合わせは

●エレコム総合インフォメーションセンター
TEL.03-5337-3024

受付時間
9:00 ~ 12:00
13:00 ~ 18:00

年中無休

エレコムFAXテクニカルサポート

受付時間
9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
FAX.03-5500-2881 月曜日 ~ 金曜日 祝・祭日を除く

部品一覧表

組み立てを行う前に、以下の部材がすべて揃っているかご確認ください。

品番 梱包	部材外観	品名 数量	品番 梱包	部材外観	品名 数量
A		天板 1枚	C		背板 1枚
B		支柱(左) 1枚	B		キャスター (ストッパー有) 2個
B		支柱(右) 1枚	B		キャスター (ストッパー無) 2個
B		脚フレーム (上) 2本	A B		ボルト (M6×20) 14本
B		脚フレーム (下) 2本	B B		ジョイントボルト 2本
B		ケーブル ボックス 1枚	付属 工具		スパナ 1本
			付属 工具		六角レンチ 1本

DNXシリーズオプション

本製品には下記のオプションを取り付けることができます。
詳しくは弊社カタログをご覧ください。

**下段棚(D=210mm)
DNX-Cシリーズ**

- ・3段可変
(デスク天板との隙間
475/355/190mm)

**オーバートップデスク(D=360mm)
DNX-Tシリーズ**

- ・50mmピッチ5段可変
(デスク天板との隙間
DNX-870/1070: 385 ~ 585mm
DNX-1270/1470: 360 ~ 560mm)

**デスクパネル(H=370mm)
DNX-Pシリーズ**

- ・表面: 両面布貼り(ブルー)
- ・芯材: 合板
- ピンナップボードとしても使用できます。

**引出し
DNX-D6**

- ・取付け時の引出し下と床との隙間: H625
- DNX-1070/1270/1470には、左右どちらにも取付け可能です。(2個付け可能)
- ・DNX-870の場合は、中央のみ1個取付け可能です。

組立説明

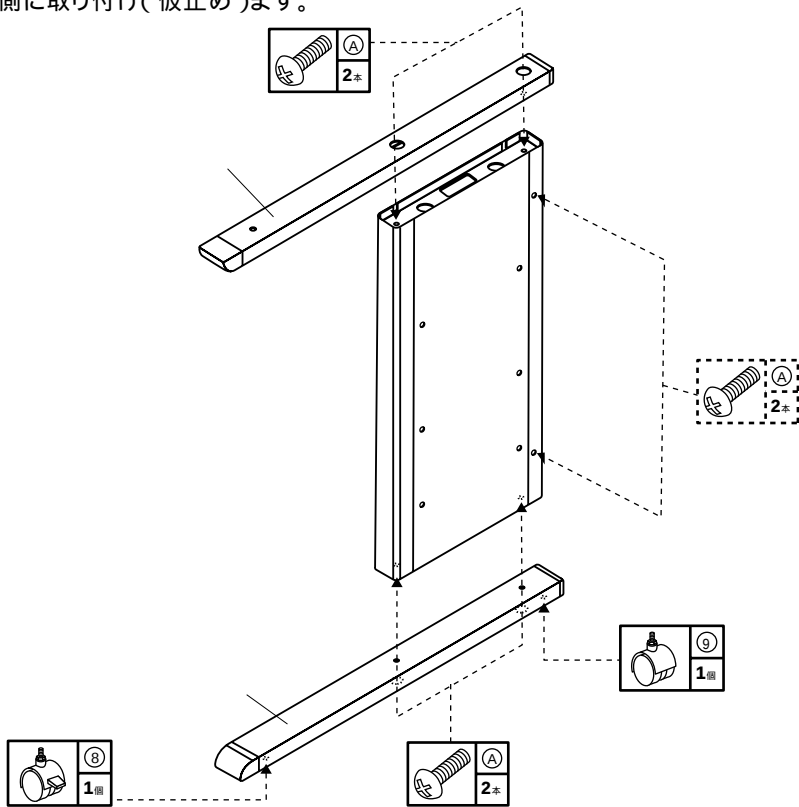
本製品はロックダウン式家具です。必ず組立手順、組立上の注意事項等の指示に従って組立を行って下さい。

使用する工具及び、ご用意いただくもの

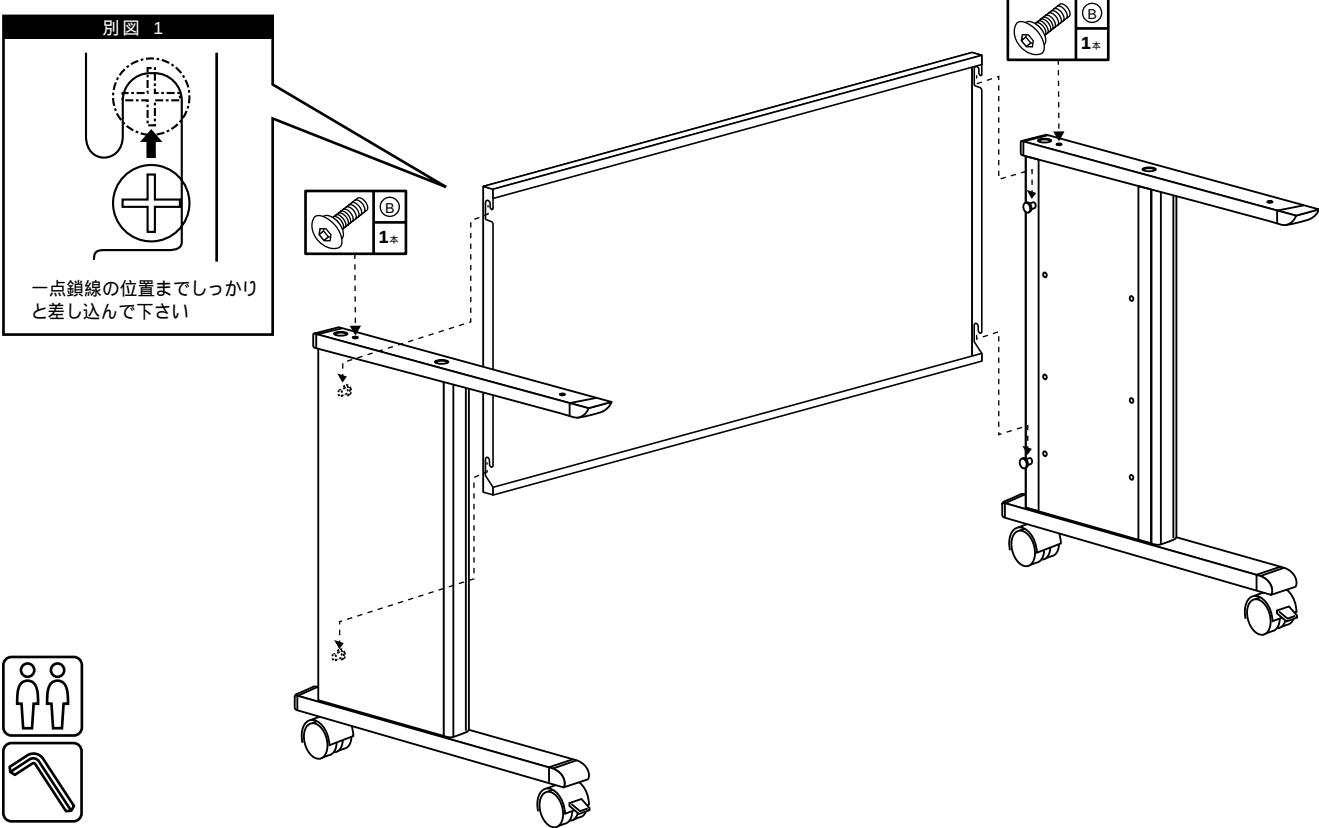
軍手

ドライバー

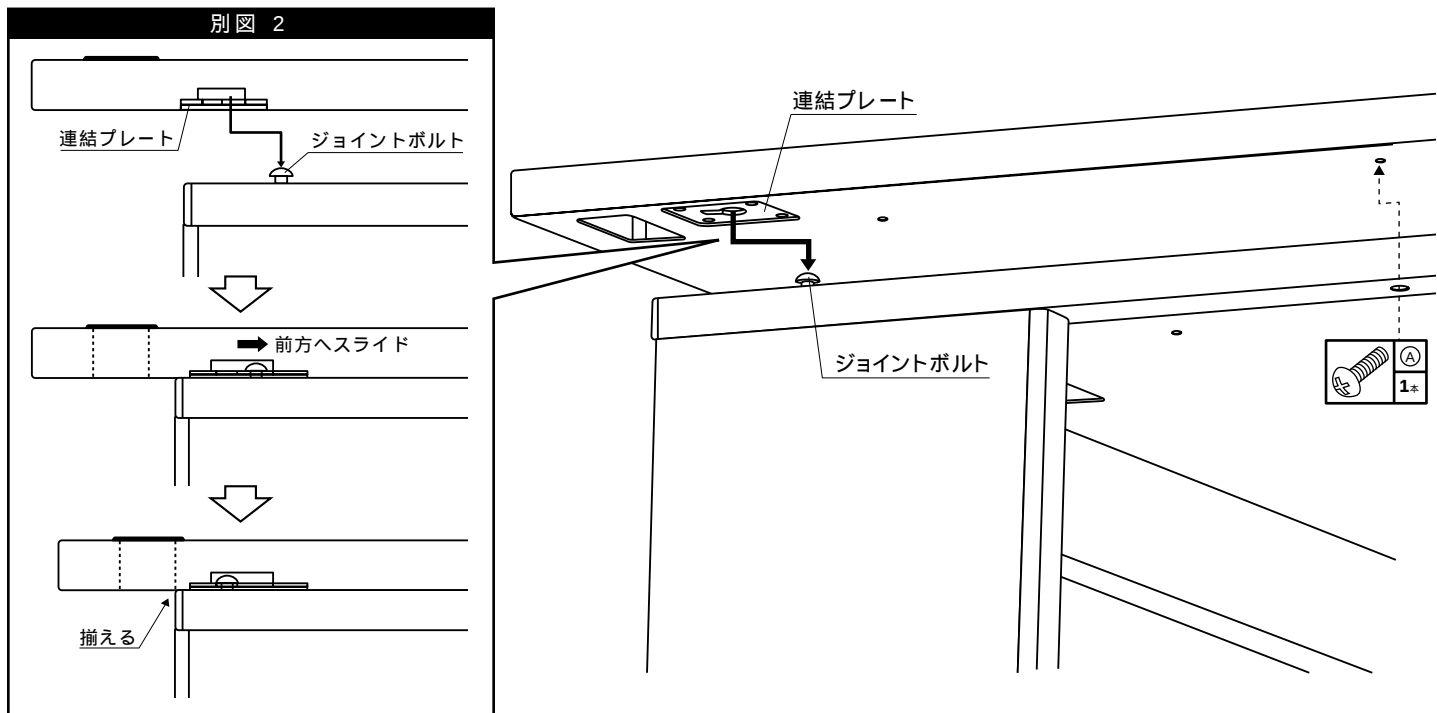
- 1** 支柱(左)と脚フレーム(上)、脚フレーム(下)を図のようにボルトAで取り付けます。
支柱(右)も同様に取り付けます。ボルトをフレーム内に落とさないよう注意して下さい。
キャスター(ストッパー有)と、キャスター(ストッパー無)を付属工具のスパナで図のように取り付けます。
ボルトAを支柱の内側に取り付け(仮止め)ます。



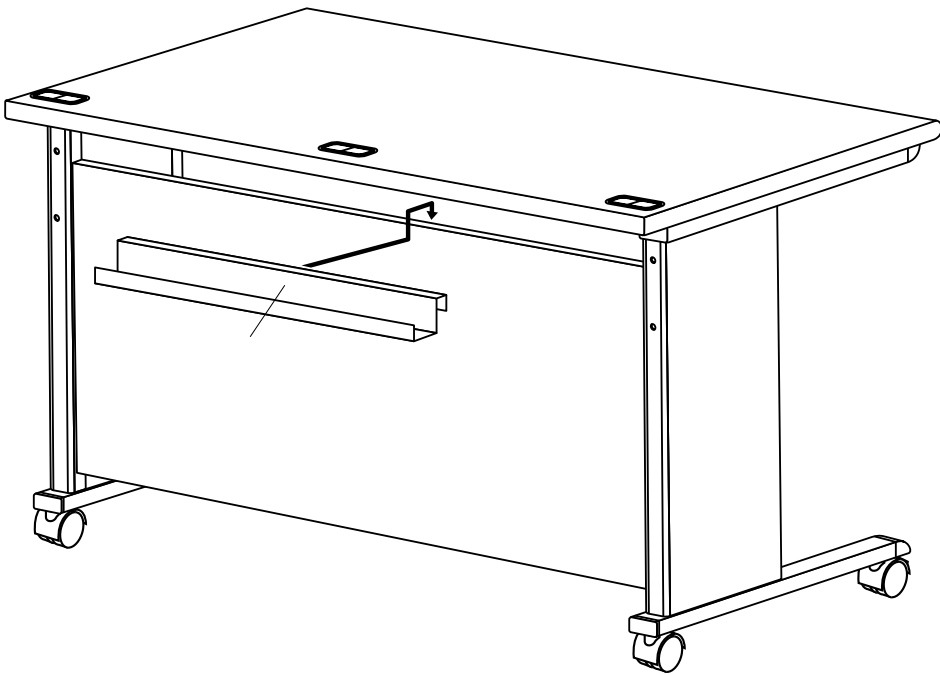
- 2** バックパネルを、支柱(左)・支柱(右)の内側に仮止めしたボルトに差し込みます。
次にボルトを締め付けます。(別図1参照)
ジョイントボルトBを付属工具のレンチで図のように取り付けます。



- 3** 天板の裏面にある連結プレート穴にジョイントボルトを左右同時に図のように差し込みます。(別図2参照)
天板を前方にスライドさせます。
ボルトAを図のように取り付けます。



- 4** ケーブルボックスをバックパネル上面に図のように取り付けて完成です。
ケーブルボックスは外側・内側どちらにも取り付けることができます。



コードキャップを使用する場合

図のようにキャップをカッターなどで切り取ります。
⚠ 注意...カッター・ナイフなどの取扱いには、十分ご注意下さい。

